

# 創刊号

発行：平成30年4月  
発行者：下松市教育委員会  
編集：下松市郷土資料展示収蔵施設  
「島の学び舎」  
(0833) 52-0860

# しままなびや 「島の学び舎」だより

## クローズアップ

### 宮ノ洲古墳を知っていますか

かつて「卑弥呼の鏡」ではないかと  
いわれたことのある三角縁神獸鏡を  
出土した古墳が下松市に存在してい  
たことを御存知ですか。この写真は、  
大正六年の日本汽船笠戸造船所建設  
時の写真で、右下に写っている森が、  
宮ノ洲古墳の石室前に建立された埴  
当社です。古墳は、現存しませんが、  
当館では、古鏡写真、「宮洲塩田図」、  
徳山藩士が描いた石室図等をわかり  
やすく写真パネルで紹介しています。



三角縁盤龍鏡（東京国立博物館蔵）



### 新展示「蒸気機関車動輪木型」

蒸気機関車のダイナミックな動きを  
象徴する動輪の製作は、手作りの木型づ  
くりから始まります。ものづくりの街の  
歴史を伝える貴重な資料です。

### 展示小品紹介

「浪速戦記」  
当館では、江戸時代の和本を多く収蔵し  
ています。



「浪速戦記」は秀頼  
上洛から家康江戸入  
城までを記した軍記  
的読物です。一説で  
は、真田幸村の名前  
は、この読物により  
名付けられたとされ  
ていますが、近年、  
新説が登場し、注目  
されます。

### 編集後記

本年一月、公集小学校三年生約百二十  
人が、「むかしのくらしと道具」を学ぶ  
ために、本館の見学に訪れました。初め  
て見る蓄音機や行灯を、興味深く見て  
ました。中には、後日、家族と再見学し  
て、さっそく学んだことを説明する児童  
もおられ、大変うれしく思いました。  
当館では、民具に限らず、ふるさと学  
習に役立つ多くの資料を展示していま  
すので、ご活用下さい。  
現在、昭和三十年代の街並み写真の分  
析、開作関係古文書の解説を行っていま  
す。その成果は、後日、紹介する予定で  
す。



### 話題の資料

これは、今から百  
六十年以上前の嘉永  
七年（一八五四）に  
作られた産湯桶で戦  
前まで使われたそう  
です。当館が収蔵す  
る民具の内、最古  
の部類に入ります。

至大城  
至白浜  
至深浦

白浜口バス停  
看板  
消防機庫  
笠戸島公民館  
島の学び舎

詳細マップ

開館日時 火・木・土・日・祝  
10時～16時  
所在地 下松市大字笠戸島 32-38